

平成29年3月吉日

関係各位

中京区在宅医療センター 代表
中京西部医師会 会長
柴垣 一夫

第八回「地域包括ケア時代の中京区在宅医療連携を考えるワークショップ」
開催のお知らせ

拝啓 春寒の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、在宅医療連携拠点事業として発足した中京区在宅医療センター地域連携室は、皆様との協働により地域包括ケアを目指した医療と介護の連携への取り組みを進めています。昨年より定例で開催しております「地域包括ケア時代の中京区在宅医療連携を考えるワークショップ」は、疾病・障害を抱えた方とそのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らすための切れ目のない医療とケアの提供を目指して、その課題の抽出と解決への方策を協議する場として、皆様のご協力・協働により第七回目（平成29年2月4日）を終えるに至っています（<http://nakagyozaikaku.com>）。平成29年度の初回に当たります今回は（第八回目）、改めまして在宅で療養・生活をおくる人々の「在宅生活を支えるための生活支援のあり方」について深めていきたいと思っております。医療・介護連携推進事業に携わっておられます各地区の皆様、医療、介護関連機関・専門職の皆様と日々の実務・活動の紹介の中から、現状における課題、解決策等についての意見交換を進めながら、目指す地域包括ケア「ひとを幸せにするための医療介護連携」とは、「在宅医療の限界をのばすことのできる連携のあり方、そのためのケアの可能性の追求」等、協議を進める中で皆様と方向性を共有していきたいと考えます。

今回初めて、市内各地区のなかから在宅医療連携実務担当者のご参加を得てワークショップを開催させて頂くにあたり、今後は、各地区の取り組みとも連動・連携して、京都に「ひとを幸せにするシステムとしての地域包括ケア」を形作ることを目指して、在宅医療連携の未来予想図を皆さまと共に描きながら取り組んでまいりたいと考えています。

ご多用中とは存じますが、奮ってご参加いただきますようよろしくお願い申し上げます。

謹白

記

第八回「地域包括ケア時代の中京区在宅医療連携を考えるワークショップ」

日 時 平成 29 年 4 月 8 日（土）午後 2 時～午後 4 時（予定）

場 所 京都市立病院 北館 7 階 大ホール
（京都市中京区壬生東高田町 1 の 2）

テ ー マ：「地域包括ケア時代の在宅医療連携へむけて
～ひとを幸せにする（地域包括ケア）システムの構築を目指して～」
「各地区の取り組みから、在宅医療連携の未来予想図を描きだす」

I 在宅医療連携と地域包括ケアの未来予想図

辻 輝之先生（中京区在宅医療センター）

II 各地区在宅医療連携実務者（パネラー）と語る未来予想図

司会：宇都宮宏子氏（在宅ケア移行支援研究所）

【主な議題】

- ・生活を支える「日常の療養支援について」
- ・急変時の対応「後方支援入院、一人開業医の緊急往診サポート」
- ・退院支援の取り組み

* パネラーには、訪問看護・地域連携室 MSW・ケアマネジャー・医師等多職種の
実務を担当されている方々の参加をいただきます。

1. パネラーによる現状紹介
2. 全体協議

主 催：中京区在宅医療センター

代表 柴垣一夫 (中京西部医師会会長)

副代表 林 治材 (中京東部医師会会長)

地域連携室

スタッフ 杉本英造 (中京西部医師会理事 認知症担当)

杉本浩造 (中京西部医師会理事 在宅医療担当)

岡山容子 (中京東部医師会理事 在宅医療担当)

辻 輝之 (中京東部医師会理事 地域包括ケア担当)

瀬津幸重 (難病相談員)

林田真由美 (在宅医療コーディネーター)

西村亮子 (事務)

アドバイザースタッフ

宇都宮宏子 (在宅ケア移行支援研究所 宇都宮宏子オフィス)

田畑隆文 (たはた診療所)

事務局 有馬美穂 (中京東部医師会)

田中孝子 (中京西部医師会)

連絡先：一般社団法人 中京東部医師会 (担当：有馬)

TEL 075-255-5731 (平日午後) FAX 075-255-5760

nakahigashi@guitar.ocn.ne.jp

以上

【返信先】 中京東部医師会 (FAX : 075-255-5760)

第八回「地域包括ケア時代の中京区在宅医療連携を考えるワークショップ」

平成 29 年 4 月 8 日 (土) 14 時～16 時

ご出席 ・ ご欠席

お名前 _____

ご施設名 _____

ご連絡先 電話 _____ ファックス _____

メール _____